

## 実績報告書

静岡県 小山町立明倫小学校	実施学年： 1～6年
	児童数： 115人(全校)
	実施教科等： 総合学習・生活科
	実施時期： 5月～11月
実施／参照プログラム	No.11 地域景観プランナーになろう



### ●学習のねらい・学習活動・準備品・実施場所

学習のねらい	● 明倫地区に住む子供たちが、発達段階に応じて、明倫地区の特色や歴史を調べたり、明倫地区の魅力を発信する方法を考えたりする活動を通して、明倫地区のすばらしさに気づき、これからも大切にしていこうとする気持ちを高める。
学習活動	● 明倫が大好き～明倫地区の歴史・現在・未来～
準備品	● デジタルカメラ ● タブレット ● プリンタ ● 調べたことをまとめるワークシート ● 発表に使う小道具
実施場所	● 明倫小体育館（発表会） ● 校区の各施設、建物、自然など（調べ学習）

## ●学習の流れ

	概要	活動記録	児童の反応
一 年 生	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1学期には、ほたるについて調べ学習を行ったり、地域の方にお話をうかがったりした。</li> <li>● 2学期には、地域で虫探しをしたり、谷戸山ハイキングに出かけたりして、明倫地区の自然に親しんだ。</li> <li>● 明倫まつりでは、自然豊かな明倫地区の昆虫について、生活科で学んだことを発表した。</li> </ul>	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 明倫地区には、たくさんの生き物がいることに気付いた。</li> <li>○ 地域の方から実際に話を聞くことで、自分も調べてみたいという意欲が高まった。</li> <li>○ 明倫地区は、自然が豊かで、生き物にやさしい地域であることに気付き、これからも、自分たちが住んでいる地域の自然を守っていこうという気持ちが芽生えた。</li> </ul>
二 年 生	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活科で、南藤曲、坂下、菅沼に町探検に行き、地域の代表的な施設や自然について見学した。</li> <li>● 地域の工場や店、郵便局、寺では、実際に働く方に話を聞き、工夫や願いを学んだ。</li> <li>● 明倫まつりでは、探検で見つけた「地域の宝物」を劇で発表した。</li> </ul>	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域を探検することで、地域にはいろいろな建物があったり、自然豊かな場所があったりすることに気付いた。</li> <li>○ 地域で働く方から話を聞くことで、自分たちがいろいろな人に支えられていることに気付き、これからも地域を大切にしていこうという気持ちが高まった。</li> </ul>
三 年 生	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会科で、地域の工場、スーパーマーケット、消防署について学んだ。</li> <li>● 実際に社会科見学に行き、働く方の工夫を見学したり、インタビューをしたりした。</li> <li>● 明倫まつりでは、地域を支えてくれている人たちに焦点を当て、働く方の願いや工夫について劇で発表した。</li> </ul>	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設の方に積極的に質問したり、熱心にメモをとったりして、新しい発見を楽しんでいた。</li> <li>○ 実際に見学する中で、働く方々が、様々な工夫をしていることに気付いた。</li> <li>○ 明倫地区はたくさんの人々に支えられていることに気付き、感謝しながら生活しようという気持ちが高まった。</li> </ul>

	概要	活動記録	児童の反応
四年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 明倫地区を支える「水」をテーマに学習を進めた。</li> <li>● 明倫地区には多くの用水路があることを知り、実際に見学に行き、地域の方に話を聞いた。</li> <li>● 明倫まつりでは、用水の歴史や、用水がもたらす自然の産物（田畑、生物、植物など）を紹介した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分たちがいつも通って見ている用水路が、明倫地区の農業を支えていたことに気付いた。</li> <li>○ 複数の用水がつながっていることを知り、驚いていた。</li> <li>○ 昔の人々が、力を合わせて用水を作ったことは、とても大きな功績だと気付き、これからも豊かな水を守っていきたいという気持ちを高めた。</li> </ul>
五年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「米作り」をテーマに、田植え、稲刈り、出荷などを行った。</li> <li>● 水稻教室で、地域の方にお米の成長の流れと育て方を教わった。</li> <li>● 明倫まつりでは、「米作り」の学習を通して学んだ、明倫地区の自然のすばらしさと、それを支えてくれる方について紹介した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 米作りには、田んぼの準備や水の管理など、たくさんの時間と力が必要だと気付き、お米ができるまでには、多くの人の苦労があることが分かった。</li> <li>○ 自分たちが給食で食べているお米が、小山町の等級の高いお米だと知り、これからは給食を残さず、味わって食べたいという気持ちを高めた。</li> </ul>
六年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 明倫地区の代表的な建物と学校の歴史について調べ学習を行った。</li> <li>● 古民家や寺などに実際に行き、地域の方に話を聞いた。</li> <li>● 明倫まつりでは、明倫地区の歴史について紹介したり明倫地区の「未来」について考えたことを発表したりした。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 明倫地区の歴史を調べる中で、学校のために地域の方が力を貸してくれることは、昔も今も変わらないことに気付いた。</li> <li>○ 豊かな自然を守るために、自分たちにできることを具体的に考えることができた。</li> <li>○ 明倫地区の良さを再確認し、その良さを自分たちが大人になったときにも守っていきたいという気持ちを持った。</li> </ul>

	概要	活動記録	児童の反応
支援学級	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最も身近な「学校」をテーマに景観学習を進めた。学校をきれいにしようと、運動場を整備したり、空き地を整備してかぼちゃ等を育てたりした。</li> <li>● プランターの世話や畑づくりを通して、地域の方とのつながりも広がった。</li> <li>● 明倫まつりでは、学校を明るくきれいにしたいという思いを伝えた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 奉仕活動を通して、学校がきれいになることに喜びを感じていた。(2組)</li> <li>○ 毎日の水やりが習慣化され、自主的に活動できるようになった。(2組)</li> <li>○ 学校の景観に目を向け、花植えや装飾などの活動を、自分たちの行動が環境をよくしていることを実感できた。(3組)</li> <li>○ 発表の場や役割活動を通して、自分の役割を意識して取り組む姿が見られ、他者に伝えようとする態度や自己有用感の語りが見られた。(3組)</li> </ul>

### ●児童の作品



景観まちづくり学習の一環として、明倫地区の風景を、「切り絵」で表現する取組を全校で行った。講師として、水口ちはるさんにお越しいただき、それぞれの学年のテーマに合わせた切り絵の作品を作った。そして、それぞれの学年で作った作品を持ち寄り、「春・夏・秋・冬」に分け、明倫地区の風景を再現した。

## ●先生の声

<p><b>【実施にあたり工夫した点・苦労した点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 学習を進めるにあたり、積極的に地域の方にアプローチし、協力を仰ぐことで、子供たちがより深く明倫地区について学べるようにした。</li><li>● 学校での調べ学習だけでなく、体験的な活動を多く取り入れることで、子供たちの関心、意欲が高まるようにした。</li><li>● 「明倫地区の風景を切り絵で表す」という活動を取り入れることで、全校が一体となって景観学習に臨めるようにした。</li><li>● 学年ごとテーマが違うため、スケジュールを立てたり、人材を確保したりすることが難しかった。</li></ul>	<p><b>【児童の反応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 地域の自然、建物、施設について調べたり、地域の方々と交流したりすることにより、地域への愛着が高まった。</li><li>● 地域の良さを再確認するだけでなく、これからも地域を大切にしていくにはどうしたらいいかも考えることができた。</li></ul>
	<p><b>【教師の変化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● カリキュラムマネジメントを考える際、地域の方々との交流を取り入れ、開かれた学校づくりを進めようとする意識が高まった。</li><li>● 地域学習を総合的な学習の時間の中心に位置付け、子供たちが地域について調べる活動を取り入れるよう、教育課程を見直した。</li></ul>